令和６年度　枚方トピックス18号

1月 16日　　郷土の伝統文化【年中行事編】(社会科)

小学４年生の社会では、郷土の伝統文化について学習しています。
今回は、**徳島県の阿波踊り**の動画を見ました。
8月のお盆の時期に、三味線、太鼓、篠笛などの演奏にのって、陽気な踊り手の集団が、掛け声とともに踊り歩きます。
えらいやっちゃ、えらいやっちゃ、ヨイヨイヨイヨイ…「すごいやつだなぁ。」「がんばってるなぁ。」という意味です。お互いを認め合い励ます言葉だそうです。
ヤットサーヤットサー…「久しぶり？元気？」という意味だそうです。

「浴衣や笠はきれいだけど、踊りなら（現代風の）ダンスのほうが好き。」と、ダンス経験のある児童Ａさん。「曲も衣装もダンスのほうが好きかな。」

調べ学習では、阿波踊りは400年以上もの歴史があることが分かりました。「400年はすごい。」と、素直な反応。

お盆の暑い時期に、なんのために踊るのかを調べると、意外な答えが・・・**亡くなったご先祖さんの霊が帰ってくると言われるお盆に、その霊をなぐさめるために、踊るのだそうです。**

400年ものあいだ、そんな徳島県の人々のふるさとや亡くなった人への思いが、この阿波踊りを続けてきた理由であることを知ったＡさん。

教員が、「この阿波踊り、Ａさんの好きな曲やダンスに変えたらいいんかな？」ときくと、Ａさんは「ぜったい変えたらあかんやろ。」と即答。盆踊りの意味や、伝統を受け継ぐことの重要性を、学ぶことができました。

伝統文化の行事には、自分が参加したいだけでなく、ふるさとや亡くなった人への思いがあります。それを受け継いでいく人がいることって、「大切だね。」いう感想で授業は終わりました。

えらいやっちゃ、えらいやっちゃ、ヨイヨイヨイヨイ「すごいやつだなぁ」「がんばってるなぁ」